

## 櫛生小学校の沿革

1858年	(安政5年)	一字寺子屋(櫛生小学校の前身)が始まる
1874年	(明治7年)	「一字小学校」と改め、民家と平崎神社を借り校舎として利用する 6月「一字簡易小学校」と改称
1881年	(明治14年)	祖谷川の対岸にあった「戸ノ谷分教場」を、「戸ノ谷小学校」と改称
1892年	(明治25年)	平崎神社境内に新校舎を建築
1893年	(明治26年)	「一字尋常小学校」と改称
1908年	(明治41年)	現在地に校舎を新築、職員室と教員住宅も設備される
1909年	(明治42年)	9月「櫛生尋常高等小学校」と改名
1910年	(明治43年)	「戸ノ谷分校」廃止
1914年	(大正3年)	6月、暴風雨で校舎倒壊
1915年	(大正4年)	4月、校舎再築 尋常科複式3学級、高等科1学級の4学級 尋常科126名、就学率86.75%
1925年	(大正14年)	尋常科285名で、就学率100%となる
1927年	(昭和2年)	児童数増加に伴い、4教室と職員室を増築
1940年	(昭和15年)	2教室増築
1941年	(昭和16年)	美馬郡西祖谷山村「櫛生国民学校」となる 8学級268名
1947年	(昭和22年)	櫛生小学校、櫛生中学校と校名改称、校長は兼務
1948年	(昭和23年)	校長が選任となり、それぞれ独立
1950年	(昭和25年)	県行政区画変更により、三好郡西祖谷山村「櫛生小学校」と校名改称
1958年	(昭和33年)	新校旗樹立式挙行、校章制定
1959年	(昭和34年)	新校舎完成
1960年	(昭和35年)	児童数の増加がはげしく、12学級372名となる
1973年	(昭和48年)	校舎内部塗装、
1987年	(昭和62年)	新校舎・屋内運動場(現在の校舎・体育館)完成
1991年	(平成3年)	運動場にフェンス取り付け
1999年	(平成11年)	前庭にログハウス完成
2005年	(平成17年)	全国へき地教育研究大会会場校となる
2006年	(平成18年)	町村合併に伴い、三好市立「櫛生小学校」となる
2010年	(平成22年)	善徳小学校、西岡小学校休校に伴い、両校児童が転入
2012年	(平成24年)	櫛生放課後子ども教室(徳島県教育委員会表彰)
2013年	(平成25年)	櫛生放課後子ども教室(文部科学省表彰) 三好市学校ICT環境整備事業(パソコン入れ替え・無線LAN)
2014年	(平成26年)	二階男子トイレ・三階女子トイレのそれぞれ一箇所洋式トイレに改修 デジタル教科書・電子黒板設置
2015年	(平成27年)	校務支援システム開始 「小中一貫教育(徳島モデル)推進事業」指定